



寺市1
野0
清る1
宝あ小

宮内閣府
住所 東京都あきる野市小川1001
電話 0425158126六三
管理 0425158163八七
寺務所 住職 石井 前琮
所長 伊藤 主任 西脇

新規墓地造成完成間近

現在、新規墓地の造成工事が急ピッチで行われております。完成許可は九月の下旬、区画数は約三百を予定しています。お檀家の皆様関係で墓地をお探しの方がございましたら、宝清寺管理事務所にお問い合わせ下さい。

尚、宝清寺指定の石材店は「石の武蔵家」「須藤石材」の他、新規に「新栄石材」と「美郷石材」と契約致しました。複数の石材店が入りしますが、お檀家の皆様に支障のないよう配慮しております。

管理料の納入について

平成七年度までの管理料を未納の方に、お彼岸の墓参の折、納入される事をお勧め致します。尚、管理料を振込される場合は後記の管理料専用振込口座にお振込下さいようお願い致します。

管理料の使用について

現在まで、お檀家の皆様にお納め頂いた管理料は、参道コンクリート工事・水屋の設置・火災保険の支払・境内清掃・植木手入れ費用として使用してまいります。今後境内・建物等の環境整備等に使用していく考えでありますので、納入の協力をよろしくお願い致します。

塔婆受取申込

「たちばな」と同封の料金受取人払いのお塔婆申込用紙は、投函してお寺に配達されるのに、通常は翌日ですが、四日掛かりますので、同封のお塔婆申込用紙をご利用の方は、早めにお塔婆の申込にこの用紙を利用される場合は、その旨お書き添え下さるようお願い致します。

お知らせ

☆前号でご案内の秋川仏教会主催「北陸名利・能登紀行」の旅に宝清寺からは四名の方が参加される事になりました。今後も、お寺関係の参拝旅行のご案内をさせて頂きますので、ご検討の上ご参加下さい。

春の彼岸は、三月二十一日の春分をはさんで前後七日間。秋の彼岸は九月二十三日をはさんで前後七日間。この期間が「お彼岸」です。

その「お彼岸」とは彼の岸、つまり、向こう側の岸の事です。彼岸は、迷い、苦しみ、煩惱のない浄らかな世界とされ、古来、日本人はお彼岸の七日間を仏教週間として先祖を敬い供養してきました。特に、彼岸の中日は「昼夜平分」で、この日は太陽が真東から上り、真西に沈む日です。それは仏教の説く「中道の教え」にかなない、「西方極楽浄土」を望むのにふさわしい日として、大切にされてきました。正しく「祈る心」を忘れつつある現代人にとって、お彼岸はご先祖を偲び、浄土への祈りを捧げるのに絶好の機会です。

今回は仏教ゆかりの食物の三回目として、「味噌」について紹介致します。日本人にとつてかかず事の出来ない食品の一つとなつた味噌は、大豆の栄養分はほとんど持つていて、その食品としての栄養価は世界的に認められ味噌汁はジャパニーズスープとして、注目されていま

とされていま
食して修行す
んばく源とし
はなくてはならないものでした。又、「味噌」の栄養価はよく知られていますが、薬効も見逃すことは出来ません。コレステロールを減らし、肥満や老化防止、アレルギー体質にも効果があります。又、国立ガンセンターの調べでは、毎日、味噌汁を飲んでいる人には、胃ガンが少ないと言う統計もあるそうです。今回は「豆腐」についてです。

来る十月十二日は、宗祖日蓮聖人のご命日のご法要を営む、御会式です。当山では、当日午後二時と七時の二回法要を厳修致します。詳細は葉書にてお知らせ致します。

長谷川千世様より
墓参の折、大勢の方がお線香の着火に苦勞されておられる様子を精進食を
ご覧になり、お線香の着火五台を奉納頂きました。着火器は上下墓地の水屋付近と管理事務所設置致しますのでご利用下さい。着火器具

御難儀
☆九月十二日は御難儀と言つて、日蓮聖人が二度目の幕府への諫言により、鎌倉の竜ノ口にて斬首刑に処せられると言ふ謀略に遭うが、法華

大変困つておりました。その問題が解消される事になり、長谷川家の皆様に感謝し報告させて頂きました。

経の行者を守護する善神のわざか、突然光ものが現れて、役人の刀は三つに折れ奇跡的にその刑を免れた。この一二七年九月十二日に遭われた竜ノ口の法難にちなみ、日蓮宗各寺院で御難儀の法要が

☆秋川市が
あきる野市に☆
九月一日秋川市と五日市町が合併し、あきる野市が誕生しました。

☆墓参用お花線香☆
(二十日、二十六日)
お花一束
七〇〇円
お線香
一〇〇〇円

☆秋川市が
あきる野市に☆
九月一日秋川市と五日市町が合併し、あきる野市が誕生しました。

☆墓参用お花線香☆
(二十日、二十六日)
お花一束
七〇〇円
お線香
一〇〇〇円